

2020年度 CSIS 共同研究

No. 977

駅前商業集積の形状比較

報告書

2020年05月

研究代表者

東京大学大学院工学系研究科/教授/浅見泰司

共同研究員

東京大学工学部/学生/塩崎 洸

CSIS教員

山田 育穂

2020 年度東京大学空間情報科学研究センター共同研究報告書

2021 年 5 月 22 日

研究番号	No. 977	
研究題目	<p>※該年度の CSIS DAYS でご発表いただいた場合、そのアブストラクトを以て報告書としていただくことが可能です。</p> <p>※CSIS DAYS のアブストラクトによる提出については以下のリンクをご参照ください。 http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2018/04/joras_guide_ja_report_1603.pdf</p> <p>駅前商業集積の形状比較</p>	
研究 代表 者	氏名	浅見泰司
	所属	東京大学大学院工学系研究科
内容	<p>・ 研究の目的</p> <p>※この報告書だけでどのような研究であるかを把握できるよう、共同研究申請時の研究内容を中心に簡潔に記述してください。</p> <p>駅前商業集積の分布形状に注目し、形状形成要因を分析すると共に、アクセシビリティの評価を行う。</p> <p>・ 研究の実施状況</p> <p>※当該年度に実施した研究活動及び研究成果について、具体的な内容を記述してください。</p> <p>※現在進行中、または期待された結果が得られなかったことにより、記入する内容がない場合には、簡単な進捗や結果が得られなかった理由について記述してください。</p> <p>例) 「まだ開始直後の段階であり、〇〇のデータを整理している」 「予定していた現地調査が行えておらず、具体的な成果が得られていない」 「組み合わせる予定だったデータが入手困難となっており、進んでいない」など</p> <p>研究の方向性を修正し分布形状ではなく店舗配置に注目して、シミュレーションによる駅前商業集積の回遊性の評価・比較を行なった。この分析をもとに、卒業論文の執筆および都市計画学会への論文投稿を行なった(未審査)。</p> <p>・ 今後の課題</p> <p>より精度の高い行動モデルを開発し、店舗配置の評価を継続的に行う。</p> <p>【提出方法】※作成した報告書の提出については以下のリンクをご参照ください。</p> <p>※本報告書を事務局にメール添付されても、添付ファイルは削除されるため拝受することはできません。必ず JoRAS システムからご登録ください。</p> <p>※JoRAS システムに登録できないときは、ファイル形式を変えて(doc, docx, pdf)お試してください。 http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2018/04/joras_guide_ja_report_1603.pdf</p>	
成果登録	<p>共同研究システム (JoRAS) をご活用いただいた研究成果のご登録をお願いしております。※成果は JoRAS システムに入力せず、以下のフォームに登録してください。</p> <p>・ 成果登録フォーム : https://forms.gle/CJA5AUqL9fdfpG496</p> <p>上記の登録有無について該当するものに○を付けてください。</p>	
	登録すべき成果なし・○登録済み・登録予定	